

環境省箱根自然環境事務所
足柄下郡箱根町元箱根旧札場164
TEL 0460-84-8727

「アクティブレンジャーって何？」

～国立公園「箱根」に2名～

■レンジャー・アクティブレンジャー

活動の様子（上下緑色の服）

エコレンジャー、パークレンジャー……、最近いろんなレンジャーがありますが、私たちは『アクティブ』と名前のつくレンジャーです。その特徴といえば、上下緑色の制服!!（写真）。国立公園で活動する環境省の非常勤職員です。

富士箱根伊豆国立公園の箱根地域には、国立公園の自然の保護・利用を適正に行うために、環境省の事務所があります。
（箱根ビジターセンターの隣）

アクティブレンジャーは、種々業務で多忙なレンジャーの補佐役として、国立公園内のパトロール、調査、パークボランティアとの連絡調整、観察会の開催など行っています。

箱根でお会いした時には、気軽に声をかけていただけたら嬉しいです。さらに詳しく知りたい方は、アクティブレンジャー日記をご覧ください。

アクティブレンジャー日記 <http://kanto.env.go.jp/blog/>

（アクティブレンジャー：大川・早川）



観察会（国立公園〇×クイズ）



子どもパークレンジャー



星の形をしたツルニンジンの実

クマに見えませんか？ →
（耳に見える部分が冠ヶ岳）



赤・黄に色づいてきた山々
（箱根ビジターセンターから見えます）

2008

11月号

No.62

～自然公園から季節のたよりをお届けします～

神奈川県自然公園だより

丹沢大山国立公園

県立丹沢大山自然公園

県立陣馬相模湖自然公園

富士箱根伊豆国立公園

秦野ビジターセンター
秦野市堀山下1513
TEL 0463-87-9300



08.10.18.塔ノ岳～丹沢山



塔ノ岳付近(約1,350m)

だんだんと秋も深まりつつある丹沢の山々。10月18日には、丹沢山や塔ノ岳周辺で紅葉が見ごろに近付き、ブナの黄色やカエデの仲間の真っ赤、シロヤシオの黄色から赤へのグラデーションが鮮やかに山々を染め始めていました。まだ、緑色が残っている部分もありましたが、その緑がより赤や黄色の色を目立たせているようでした。

そして、17日には県立秦野戸川公園で、今年度初の冬鳥の姿を確認しました。鮮やかなオレンジ色のお腹とシルバーグレーの頭、羽は黒に白い紋付、ジョウビタキのオスです。カシラダカやツグミなどこれから寒い北方から渡ってくる冬鳥たちの姿もどんどん増えていきます。

昨年は、11月中旬に標高700m前後で紅葉が見ごろとなり、塔ノ岳や丹沢山では雪が舞いました。県立秦野戸川公園（標高約290m）付近まで紅葉が下りてきたのは、11月下旬～12月上旬ごろ。

これから12月上旬まで、山へ登ればどこかで見ごろの紅葉に出会うことができます。今年はどんな姿を山々は見せてくれるのでしょうか？

（篠島）

編集・発行 財団法人 神奈川県公園協会自然公園課

後援：丹沢大山自然再生委員会

〒231-0027横浜市中区扇町3-8-8関内ファーストビル6階

TEL：045-651-0931（都市公園課・自然公園課）FAX：045-651-0932

自然公園課：sizenkouen@kanagawa-park.or.jp

ホームページ <http://www.kanagawa-park.or.jp/>

この通信を上記のホームページで見ることが出来ます。

陣馬自然公園センター

藤野町佐野川659-3
TEL 0426-87-5270

「秋の陣馬山」

朝夕の空気もひんやりとしてきました。センター周辺の山々もうっすら色づきはじめました。

季節ごとに樹木は花を咲かせたり、青々した葉をおい茂らせたり、その葉も秋には紅色・黄色・オレンジ色などに染まり、さまざまな姿や自然の美しさを私たちに見せてくれます。今年の紅葉は鮮やかに美しく色づくでしょうか？

陣馬山頂では自然の面白さを私たちに二度感じさせてくれるシソ科の「シモバシラの花」が咲き終わりましたが、薄い氷が花びらのような形となる冬の風物詩「シモバシラの氷の花」が開くころには、撮影に多くの登山者が訪れることでしょう。



キヌガサタケ



センブリ

陣馬山では、遠足で訪れる小学生や、中高年の小グループで登山を楽しむ人が増え賑わっています。中には、キノコ観察が目当ての登山者もいらっしゃるようで、ウラボニホテイシメジやクリタケなどがあつたと教えてくれました。

また、センター前の竹やぶでは白い網目のマントを広げた華麗な姿のキヌガサタケがいっぱい出ていました。

陣馬山頂の茶店周辺では今年も枯草が刈り取られ、冬の山火事防止の準備も終わりました。季節は刻々と変化しています。様々な自然の姿を楽しむことのできる陣馬に是非お越し下さい。

(荒井)

丹沢湖ビジターセンター

山北町玄倉515
TEL 0465-78-3888

「秋から冬は動物観察」

ビジターセンターの裏庭にはいろいろな動物がやって来ます。

秋になると、散策路付近にはシカのヌタ場ができ、水の少なくなった池はイノシシの泥浴び場になります。残念なことに、哺乳動物の多くは夜行性のため、昼間はなかなか見ることができません。

そこで先日、池に自動撮影カメラを仕掛けてみたところ、イノシシが写りました。斜面にできた獣道はタヌキやキツネ、テンなどの通り道になっていました。大きなオニグルミにはニホンリスがやってきて堅い



ニホンリス



カモシカ

実を割って食べているようですが、昼行性の動物なのに姿は見たことはありません。誰もいない早朝か夕方に来ているのでしょう。

秋から冬は動物の観察がしやすい季節です。食べ物を求めて山麓に降りて来る動物も少なくなく、葉が落ちれば林の中は見通しがきき、雪が積もれば足跡も見つけられます。

また、姿は見られなくても、木の実や葉の食べ痕、ウンチなどを見つけることもできます。

(山口)



イノシシ

宮ヶ瀬ビジターセンター

清川村宮ヶ瀬940-15
TEL 046-288-1373

「秋の夜長は虫の音を楽しもう！」



ハヤシノウマオイ



カントク

木の上から「リーリーリー」と大きな声が降ってきます。もともと日本にはいなかったアオマツムシの声です。10年ほど前から宮ヶ瀬にも住み着き、今では早戸川林道の奥にまでいます。大きな声なので、他の虫の音が聞きづらくなっています。

道路脇の草むらの中から「フィリリリー、フィリリリー」とエンマコオロギの声が聞こえます。家の近くでも聞いたことがあるかもしれません。この種類は町にも山にもいる虫もいます。聞いたことのある声を聞くと、ちょっと嬉しくなります。

まだまだ色々な声がするはずですよ。もし虫の音が小さくて聞きにくい時には、耳の後ろに手のひらを当ててください。ずいぶん聞こえ方が違ってきますよ。

(青木)

秋も終わりに近づいていますが、11月半ばまで虫の音を楽しむことができます。宮ヶ瀬ビジターセンターのお奨めコースは早戸川林道。ここは一般車両が入ってこないため暗くなっても安心して歩くことができます。

薄暗くなってきた早戸川林道を懐中電灯を片手に散策にでかけてみましょう。藪の中から「スィーチョン、スィーチョン」と聞こえてきました。近づいて姿を探そうとすると、鳴き止んでしまいます。でも、しばらくじっとしていると「スィーチョン、スィーチョン」と鳴き始めました。長さ4cm程の緑色の虫が羽をふるわせながら鳴いています。これがハヤシノウマオイです。

今度はススキの中から「ルルルル・・・」と聞こえてきました。カントクです。「鳴く虫の王様」と呼ぶ人もいるくらい美しい音です。しばらく足を止めて楽しみましょう。



アオマツムシ

丹沢湖ビジターセンター 【〒258-0202 山北町玄倉515
TEL 0465-78-3888 FAX 0465-78-3777】

●自然教室「初めての動物観察」

動物観察に興味のある方集まれ！哺乳動物の痕跡を観察し、生活を探ります。

実施日：12月14日(日)
時間：10:30~15:00
場所：丹沢湖周辺
募集人数：小学生以上30名

※応募者多数の場合は抽選

参加費：1人300円(資料代、保険代)
締切：11月29日(土)



県立ビジターセンター
もよおし案内

秦野ビジターセンター

【〒259-1304 秦野市堀山下1513
TEL 0463-87-9300 FAX 0463-87-9311】

●企画展「丹沢びっくり色図鑑」

開催日：10月11日(土)~12月28日(日)

”こんな生き物にこんな色か”の驚きや”色の由来となった生き物”など色から自然を楽しもう！

宮ヶ瀬ビジターセンター

【〒243-0111 清川村宮ヶ瀬940-15
TEL 046-288-1373 FAX 046-288-1162】

●自然教室「はじめての野鳥観察」

冬の丹沢山麓、宮ヶ瀬にはどんな野鳥がいるだろう？野鳥を観察にでかけます！

実施日：1月18日(日)
時間：9:15~16:00 ※雨天中止

募集人数：30名(未就学児不可・小学生は保護者同伴)
集合解散：宮ヶ瀬ビジターセンター
参加費：1人300円(資料代、保険代)
締切：12月27日(土)



** 自然教室申込み方法 **

往復はがきかFAX(返信FAX番号明記)に、行事名、参加者全員の氏名、年齢、性別、住所、電話番号を明記して、各施設へ締切日必着でお送りください。(詳しくは返信でお知らせします)